

J.S. バッハの伝道師—  
カール・リヒターの遺産



# ミュンヘン・ バッハ管弦楽団

バッハ  
—  
その  
不滅の  
金字塔

《プログラム》

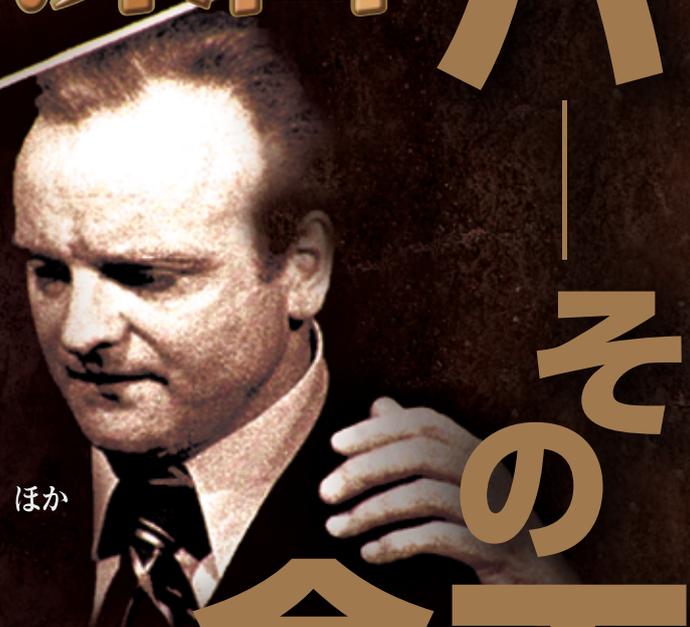
トッカータとフーガ 二短調 (パイプオルガン) BWV 565

小フーガト短調 (パイプオルガン) BWV 578

管弦楽組曲第2番 口短調 BWV 1067

ブランデンブルグ協奏曲第5番 二長調 BWV 1050 ほか

※曲目は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



© Florian Wagner

芸術監督

(パイプオルガン/チェンバロ)

ハンスイェルク・アルブレヒト

2013年グラミー賞

[Best Classical Instrumental Solo] ノミネート

その  
不滅の  
金字塔

© Courtesy of the private Karl-Richter-archive



京都の秋  
音楽祭

2017年 9月30日(土) 14:00開演 (13:15開場)

京都コンサートホール大ホール

京都市左京区下鴨半木町1-26 / 地下鉄「北山」駅下車、③・①出口から南へ徒歩約3分

●主催 / otonowa、インプレサリオ東京

●共催 / 京都市、京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

お問合せ

otonowa <http://www.otonowa.co.jp>

☎ 075-252-8255 [10:00~18:30 日曜・祝日休み 土曜不定休]

入場料金(税込)

S席 8,000円  
A席 6,000円  
B席 4,500円

4月22日(土) 10:00AM  
発売開始!!

京都コンサートホール ☎075-711-3231  
チケットぴあ(Pコード: 320-818) ☎0570-02-9999  
ローソンチケット(Lコード: 56119) ☎0570-00-0407  
☎0570-08-4005  
☎0570-08-9990  
CNプレイガイド  
イープラス <http://eplus.jp/otonowa/>  
高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ  
ロームシアター京都 ☎075-746-3201  
otonowa ☎075-252-8255  
※電話予約のみ/郵便振替口座: 00960-8-322727 加入者名: オトノワ

※未就学児のご入場はお断りいたします。  
※やむを得ない事情により、出演者・内容等が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。



©Munich Bach Orchestra

# 巨匠カール・リヒターの残した、 バッハの精神を音楽で語り継ぐ 正統派アンサンブル

『ミュンヘン・バッハ管弦楽団』『カール・リヒター』——クラシック音楽ファンなら、この名前を知らない人はいない——それほどまでに、クラシック音楽業界のなかでもとりわけ JS バッハ作品の演奏史上、彼らの名は欠かせないほどにその地位を不動のものとしてきた。ブランデンブルグ協奏曲（全曲）、管弦楽組曲（全曲）、マタイ受難曲、ヨハネ受難曲といった JS バッハの代表作の録音は数多く存在するが、その中で彼らのタッグで演奏された CD はいまや殿堂入りとなり、古楽復興運動など近年の古楽スタイルでの演奏の流行があってもなお、オーソドックスで耳馴染みの良い模範的な演奏として、今日まで親しまれているのだ。1969 年に初来日を果たした彼らの名演は今なお後世に語り継がれている。

そうしたミュンヘン・バッハ管弦楽団とカール・リヒターが一世を風靡した時代から四半世紀以上が経ち、現在のミュンヘン・バッハ管とリヒターの後継者である芸術監督ハンスイェルク・アルブレヒトによる待望の再来日が 2017 年秋、実現する。バッハゆかりの地ライプツィヒやドレスデンでその土壌を築いたリヒターがミュンヘンでその功績をあげたのはご存知の通りだ。そして彼

と共にこの楽団の名を世に知らしめた伝説的名歌手、ペーター・シュライアーはその精神を受け継ぎ、彼の愛弟子として長年アシスタントを務めてきた現芸術監督のアルブレヒトは未来へと発展させる重責を担う……。歴史あるドレスデン聖十字架合唱団で音楽教育を受け、ドイツ音楽の本質を学んだこの 3 人をなくして今のミュンヘン・バッハは語れない。彼らに共通するドイツ音楽の精神がミュンヘン・バッハ管の演奏に宿り、それが脈々と受け継がれているのだ。

有名な小品から管弦楽曲、声楽曲に至るまで、編成の大小にかかわらずバッハの音楽はまさに芸術の神髄であり、何百年と受け継がれても決して色褪せることはなく、新鮮に聴くことができる。今回の来日プログラムは、誰もが聴いたことのあるバッハの作品ばかりを集めた、究極のオール・バッハ・プログラム。音楽の本質を肌で感じ、カリスマ的存在であったリヒターの思いを受け継ぎながら独自の解釈を加え、オリジナルのバッハ演奏を紡ぎだしているアルブレヒト率いる現在のミュンヘン・バッハ管弦楽団の演奏は、おおいに期待できるものに相違ない。

## ミュンヘン・バッハ管弦楽団 MÜNCHENER BACH ORCHESTER

ミュンヘン・バッハ・管弦楽団はカール・リヒターによって創設され、瞬間に世界的な室内楽団としての地位を築き上げてきた。ミュンヘン・バッハ管弦楽団はその卓越した名声を、パリ、モスクワ、東京、ニューヨークに至る世界各地での演奏旅行を通して、とりわけバッハ作品演奏の解釈によって得ることとなる。

これまでゲスト指揮者には、レナード・バーンスタインやブルーノ・ヴァイル、ペーター・シュライアー、といった人も名を連ねた。カール・リヒター、ハンス＝マルティン・シュナイトの後継として、現在はハンスイェルク・アルブレヒトがこの名誉あるミュンヘン・バッハ管弦楽団を率いており、伝統に基づいた演奏法と独創的な再演で、芸術活動を続けている。2014 年には「ブランデンブルグ協奏曲全曲演奏会」で日本ツアーを行い、大成功をおさめた。



©Rosi Radecke

カール・リヒターが創設したミュンヘン・バッハ合唱団及びミュンヘン・バッハ管弦楽団の芸術監督。これまでにミュンヘン交響楽団、サンタ・チェチーリア管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、アラベラ・シュタインバッハー、アルブレヒト・マイヤー、等数多くの著名なオーケストラや演奏家と共演を重ねた。

ドイツのフライブルク・ザクソンに生まれ、ドレスデン聖十字架教会合唱団で音楽教育を受けた。その後ハンブルク、リヨン、ケルンで指揮とオルガンを学ぶ。学生時代には 7 年間ハンブルクの聖ミハエル教会の副オルガニストとなり、その後、歌手・指揮者として著名なペーター・シュライアーのアシスタント・オルガニスト、ハーブシコーディストを務めた。

2006 年からエムス・クラシックス・レーベルと契約を結び、指揮者として多くの CD をリリース。また、2013 年、ホルストの「惑星」（パイプオルガン独奏）でグラミー賞の「Best Classical Instrumental Solo」にノミネートされた。



©Florian Wagner

芸術監督 / 指揮、チェンバロ、パイプオルガン  
Hansjörg Albrecht

ハンスイェルク・アルブレヒト

### オール・バッハ・プログラム

トッカータとフーガ 二短調 BWV565 (パイプオルガン)

ヴァイオリン協奏曲第 2 番 ホ長調 BWV1042

ブランデンブルグ協奏曲第 5 番 二長調 BWV1050

小フーガト短調 BWV578 (パイプオルガン)

2 台のヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043

主よ、人の望みの喜びよ BWV147

管弦楽組曲第 2 番 口短調 BWV1067

### ご注意とお願い

- 会場内におけるご飲食、喫煙はご遠慮ください。
- 未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- 開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。
- 写真撮影、録音・録画は固くお断りさせていただきます。
- プログラムは都合により変更の可能性がございますのであらかじめご了承ください。